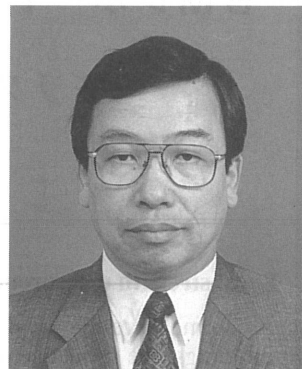


日本弁柄工業株式会社  
代表取締役社長 岩坂 光富



この度日本ボンデッドマグネット工業協会の会長を拝命し、就任致しました。

私は永年銅や亜鉛を中心とした非鉄金属材料の製造、開発に携わってまいりました。マグネットについてはまったくの素人でありまして、当工業協会の会長に就任致しました。現在、この重責に身の引き締まる思いでありますと共に、きちっとつとまるであろうかといささか不安な心境でございますが、先輩諸兄や会員各位のご指導、ご鞭撻を賜り、この伝統と実績のある当工業協会の一層の発展の為微力ながら全力を尽くしてまいり所存でございますので、何卒よろしくお願い申し上げます。

さて、今年に入り、我が国では、ご承知の通り、年初の阪神大震災に始まり、地下鉄サリン事件、急激な円高、日米経済摩擦、金融不安等々と激しく揺れ動き、経済環境は大変厳しいものとなりました。円相場をみましても、3月には80円を切るところまで高くなり、しばらく85円前後で推移し、昨年よりようやく回復の兆しのあった国内景気に水をさすかたちとなり、景気の先行き不透明感の中、秋以降の景気後退が危惧されておりました。ところが8月に入り一転して95～100円の円安ドル高に戻り、先行きに明るい見通しが持てるようになって来ましたことは喜ばしいところであります。しかし基本的に円高基調が変わらない状況下では、企業にとって、グローバルな厳しい競争の中、体質をより強固なものにしていく必要性はなんら変わることはないものであり、海外移転、海外調達、リストラ、規制緩和対応等々の諸施策は着実に実行していくべきものでありましょう。

又社会的要求として環境保護や製造物責任(PL)等の課題も提起されており、企業にとって避けて通れないものとして、真剣に取り組み、克服していくべく、生活者の視点での行動が必要であろうと思

ます。

一方BM工業界においても、会員各位の並々ならぬご苦勞、ご努力の結果、ボンデッドマグネットが生活の隅々にまで浸透し、必要不可欠なものとして使用されており、今後も継続して成長が見込まれ、益々社会に幅広く応用展開されていくであろうことを考えますと、この激しい時代の変化に対し、又厳しい社会の要求に対し、適確に対応出来る独自の生産技術力、開発技術力の向上等により、諸課題を解決していかねばならないものと思います。

当工業協会は、素材から製造機器まで幅広い分野の会員から構成されておりますので、この特徴を大いに発揮し、前述の諸課題、諸要求への対応等、時代の変化に即した活動を展開出来るものと思っております。会員各位の一層のご協力、ご支援をお願い申し上げます。

最後に厳しい経営環境はまだまだ続いていくものと思われませんが、会員各位のご隆盛、ご発展をお祈り申し上げますと共に、当工業協会の運営に対し、一層のご指導、ご鞭撻を賜りますよう重ねてお願い申し上げます。